



笹小だより



No. 3

令和元年 5月31日
横浜市立笹野台小学校

「笑顔いっぱいの運動会」

校長 飯田 雅人

5月25日（土）、強い日差しのもと、暑さ対策にも配慮しながら第48回笹小運動会を行うことができました。保護者の皆様や地域の皆様には、子どもたちが本気になって演技や競技に取り組む姿に温かいご声援をいただき、ありがとうございました。

「笹勝3」（笹小キッズ・勝利を目指せ・3つの力で）は、団結して運動会を盛り上げようという子どもたちの熱い思いのこもったスローガンです。4月の全校団結式の中で、応援団長が運動会にかけるそれぞれの熱い思いを語り、リレーの選手や応援団の紹介をしました。大型連休が終わってから、5月に入って本格的に運動会の練習が始まりました。朝会の中では、私は子どもたちに「自分なりのめあて」をもつことの大切さを話しました。子どもたちは、練習が進むにつれて、にこにこ学年でお互いの演技を見合うなど、自分たちを高め合っていました。運動会当日は、1・2年生の団体競技「チェッコリ 玉入れ」は、2年生の立派なお手本もあり、笑顔でノリノリの子どもたちの様子に、見ているほうも楽しくなりました。3年生の「エイサー」と4年生の「ソーラン」は、伝統の演技に創作を加え、ビートをきざむ、力強く、かっこいい演技となりました。6年生が身ぶり手ぶりを交えて5年生を上手にリードして教えていた5・6年生の「飛翔」の演技では、高学年らしいきびきびとした迫力のある動きに大きな拍手をもらいました。見ていた保護者や地域の方の中には、感動で涙があふれだした方もいらっしゃったようです。何よりもうれしかったことは、1年生から6年生のどの子にも悔し涙があったとしても、その後には笑顔が輝いていたことです。5月の運動会は、クラスや学年が一つにまとまる大きなチャンスでもありました。運動会の振り返りを生かしながら、6月からはクラスや学年の目標に向かって充実した日々を送ることができるよう見守っていきたいと思います。

話は変わりますが、先日の中休みに職員室の入り口で校庭の子どもたちの様子を見ていたら、「校長先生、一緒にお散歩をしよう」と何人かの1年生に手を引っ張られて校庭を散策しました。1年生の植木鉢からは、連休前後に蒔いた種からかわいらしい芽がたくさん出ているものもありました。「やったあ～、芽が出たあ～。かわいいなあ～。」とか、「おうちに帰ったら、お母さんに報告しなきゃ。」とか、中には、「あ、ありがたい。」「なめくじ見つけた。」「てんとう虫見つけ。」と自分が見つけたことを次々と嬉しそうに私に話しかけてきます。どの子の顔からも、そして私からも笑顔があふれていたことは言うまでもありません。小さなことを見つけた感動を人に伝えられるということは、子どもたちにとって、とてもうれしいことです。大きな行事はもちろんのことですが、日頃から、子どもたちも教職員も「笑顔いっぱい」の学校にしていきたいと思った出来事でした。